

スマート農業技術等開発支援事業の実施状況

コンソーシアム名	水田の水位計改良	収穫量自動集計秤の開発	自作可能なCO2モニタリング装置開発
実施年度	R3年度実施	R3年度～R4年度実施	R5年度～R6年度
作目	水稻	トマト、ミニトマト	いちご
実施場所	新見市	鏡野町	倉敷市
背景、課題	水田の水位計は、利便性が高い器具であるが、既存品には様々な機能が付加されており、高額なため生産現場で普及していない。	トマト栽培において日々の収穫量の把握は重要であるが、経営規模が大きく品種や出荷先が多岐に渡るため、その把握が困難であった。	いちごの施設栽培では、収穫量や品質の向上には温度、湿度以外にも、CO2濃度やECをモニタリングして管理することが重要だが装置の導入は費用が高く十分に普及していない。
事業内容	機能を水位測定に絞った簡易な水位計の試作	収穫量をリアルタイムに確認できる自動集計秤の試作	自作可能なCO2モニタリング装置、ECモニタリング装置の開発・改良
期待される効果	経営の省力化 (ほ場見回り時間の短縮)	収穫量や品質の向上	収穫量や品質の向上
構成員	・(株)ヘルヴェチア ・前田ライスセンター ・新見農業普及指導センター	・(株)ワードシステム ・小原農園(株) ・津山工業高等専門学校 ・美作広域農業普及指導センター	・(株)タマテック ・倉敷地方施設いちご研究会 ・備南広域農業普及指導センター
	 水位計の設置 (令和3年8月)	 体重計を活用した自動集計秤 (令和3年11月)	 ECモニタリング装置 (令和5年9月)

スマート農業技術等開発支援事業の実施状況

コンソーシアム名	いちごの選果・パッキングラインの開発		
実施年度	R7年度～		
作目	いちご		
実施場所	岡山市		
背景、課題	いちご生産者は、パック詰め作業が労働時間全体の6割を占めている。また、目視で選別・パック詰めしているため、作業員毎で荷姿がまちまちになっており、省力化と確実な選別・パッキング技術が求められている。		
事業内容	A Iによる晴莓の出荷規格に基づく等級別の果実選別システムお改良・製品化		
期待される効果	選果の高位平準化と省力化		
構成員	・（株）ビジュアルサーボ ・全農岡山県本部 ・J A岡山いちご部会 ・岡山県（備前広域農業普及指導センター、備前県民局農畜産物生産課、農産課）		
	 部会員への装置説明 及び聞き取り調査 （令和8年3月）		